



特定非営利活動法人 国際教育研究会

みくに国際学園 2024年度 夏合宿受講生募集要項

諸事情により、記載内容に変更が生じた場合は申し込み時のメールアドレスにお知らせします。
受講を申し込まれた方はメールの確認を忘れないようにお願いいたします。

【夏合宿概略】

毎年7月中旬から8月初旬、みくに国際学園湯沢校では近い将来のために英語を学びたい、英語で話せるようになりたいという日本各地の中高生を対象として3週間にわたる体験型夏期合宿を開いています。期間中は同世代の参加者との共同生活やネイティブスピーカーとの交流を通して、英語学習の楽しさを体得しながらも、自らを見つめ、深い友情を築いていただくことができます。

【主宰】

みくに国際学園は特定非営利活動法人 国際教育研究会 (IERS) が主宰し、私塾として管理運営しています。

一 特定非営利活動法人 国際教育研究会の目的一

この法人は、当法人の価値観、イエス・キリストの精神を土台に、青少年を始めとする一般市民に対して語学に関する教育事業を行い、学術、文化、芸術又はスポーツの振興と子どもの健全育成を図り、国際協力の活動に寄与することを目的とする。
(定款から引用)

【学園の目的・特徴】

みくに国際学園は下記のモットーとビジョンに則り、ブリガム・ヤング大学およびその系列校を含む海外留学、または英語イマージョン授業を主体とする日本国内の大学への進学を目指す若人の皆さんの英語力と精神面での向上を以下の点で支援しています。

====みくに国際学園のモットーとミッション====

【モットー】

Be the light of the world!

— 世の光となろう！ —

【ビジョン】

みくに国際学園はキリストの教えを礎とし、
効率的な英語学習法と
主体性を重んじるプログラムを提供することで、
神のため 人のために仕え、
いついかなるときも
世に光を放つ“人”を育てます。

=====

- コンテンツベース授業／イマージョン環境の提供
 - 英語／英会話の習得を目的とする授業と並行し

て、経済・数学・コンピューターなどの現代社会に不可欠な科目を英語で学ぶ、いわゆる留学本番前の「国内留学」環境。

- ネイティブスピーカーをはじめ、各科に現場経験豊かで人間性あふれる厳選された講師陣を配置。
- 瞬発的に英語に反応できる英語脳を構築する、実証済みの“スリーステップメソッド”を活用。
- ネイティブスピーカーとの共同生活から得られる“身につく”英語力
 - 英語を机上で学んで頭で理解するのではなく、日常生活で実際に使う体得型学習環境。
- 積極的に学ぶ学生に設けられた返還不要の奨学制度
 - 成績優秀者だけに限らず、奉仕活動への準備中もしくは帰還した学生や「ひとり親家庭」など、留学したくても経済的負担を抱えている学生を対象とした奨学制度。
- 志を共にする仲間作りの機会
 - 寝食を共にしながら学び、笑い、涙する強い絆で結ばれる永遠の友との出会い。
- 学びと実践の繰り返しによる自立
 - キリストの教えを学び合い、その精神を基とした実践生活によって培われる人格的向上の機会。
 - 奉仕を厭わない現地滞在学園スタッフの存在。

コンテンツベース：英語を単に語学として学ぶのではなく、学ぶ科目の「内容」を「英語」で聞き、読み、書き、話すことで各科の知識と語学4技能の総合的な理解と定着を加速させる極めて実践的な学習法です。学園の授業内容は進学後の単位認定に優位な科目となっており、アメリカの大学の授業をアレンジしてわかりやすく提供します。

イマージョン授業：英語の「immerse (浸す)」が語源で、「その言語に浸りきって習得する」授業と日常生活がみくに国際学園の基本です。五感からの入力に対して英語で反応を求められる環境に身を置くことで学習の定着を図り、「英語を英語で考える力」を自らの経験によって身につけます。

みくに国際学園では、受講生の皆さんが国内にいる間にこうした環境で学んでいただくことにより、留学本番に向けて知的にも精神的にも準備していただくことができます。

【実施期間】

2024 年（令和 6 年）の夏合宿は以下の日程で行われます。

- 7 月 22 日〔月〕～8 月 9 日〔金〕の 3 週間。
- 日程内で各自参加期間（全日程 3 週間／2 週間／1 週間）の選択ができます。
- 参加日程の前日夕方までに来校してください。
- 開講式は 7 月 22 日〔月〕 9:00 から行われます。

米国の祝日にあたる日は休講となります。また、土曜／日曜には授業はありませんが、土曜日にはレクリエーション活動、日曜日には礼拝行事があります。

【対象者・定員】

対象者：現時点での英語力は問いませんが、英語 4 技能「聞く（リスニング）」「話す（スピーキング）」「読む（リーディング）」「書く（ライティング）」の向上に積極的に取り組み、学園が定める学則（後述）を遵守するよう努力できる中学生／高校生を対象とします。

定員：全数 45 名を上限とします。面接後にグループ分けが行われます。

【参加費】

- 入会金：不要
- 参加費：生活費、光熱費、食費すべてを含み、参加期間によって異なります。
 - 79,000 円／3 週間
 - 57,000 円／2 週間
 - 35,000 円／1 週間
- 参加日数による参加費の調整は行いません。例えば、10 日間の参加⇒2 週間、15 日間の参加⇒3 週間と見なします。
- 現地までの交通費は参加者自己負担となります。

【受講申し込み】

受講の申し込みは、みくに国際学園の公式ウェブサイトに掲載された最新の募集内容を確認した上で専用フォームからお申し込みください。

<https://www.mikunijapan.org>



1. 必ずウェブサイトにある申込フォームを使って、受講生自身で申し込んでください。
2. 事務局にて申し込みが確認されましたら、宿題や面接について説明したメールを後日返信しますので熟読してください。
3. メールに記載されたリンクから「プロフィールシート」と「心身の健康に関するアンケート」にアクセスし、必要事項を入力して送信してください。
4. 前項にある 2 つのフォームで送信した後、速やかに学生本人で面談の予約をとってください。連絡用メールアドレスは返信されたメールに記載しています。面談は簡単な英語で行われ、質問にもお答えします。
5. 面談が済まれましたら、所定の金融機関指定口座に参加費をお振込みください。

【申し込み後のキャンセル】

申し込み後のキャンセルは事務局へのお電話のみで承ります。平日 9 時～18 時（土・日・祝日を除く）の時間帯に専用電話番号 025-775-7771 までお電話ください。受付・経理担当が直接対応します。

【参加費のお振込み】

参加費には湯沢現地で生活を送る上で必要な生活関連費全てを含んでいます（個人の嗜好品等の購入は除外）。合宿が始まる 3 日前までを期限として下記口座にお振込みください。手数料が生じる場合はお申込者様のご負担となります。

名義：特定非営利活動法人 国際教育研究会
トクヒコクサイキョウイクケンキウウカイ

〔ゆうちょ銀行からのお振込〕

ゆうちょ銀行 記号 10260 番号 23051271

〔他金融機関からのお振込〕

〇二八(ぜろにはち)店(028) 普通預金 2305127

ご注意：お振込の際、ゆうちょ銀行からと他金融機関からとは口座番号下一桁の数字が異なります。

なお、クレジットカードによるお支払いはできません。
病気などの止むを得ない理由を除いては、学期期間途中での参加費返金はいたしかねます。予めご了承ください。

【外国語検定資格】

学生にはいかなる資格も求めませんが、持っている場合は必ず申し込みフォームに記載してください。

【学則（オーナーコード）】

ブリガム・ヤング大学およびその系列校には、学生たちが遵守している学則（Honor Code）があります。

みくに国際学園がこれらの大学への留学を支援する以上、受講の場所がどこであっても、学生の皆さんにも遵守していただくように推奨しています。

その最大の理由は、学則の遵守が学力のみならず学生一人一人の人格の向上にも益し、今後の人生全体に大きな祝福をもたらすからです。これを遵守せず、遅刻や欠席などが多い場合は、学校長の判断により受講の継続が難しくなる場合があります。詳細は開講後のオリエンテーションで説明しますが、不明な点は事務局までお尋ねください。

- 信仰を深め、福音の基準を維持する努力を含め、教会的推薦を維持すること。
- 誠実であること。
- 男女間の結婚以外の性的関係を断つことを含め、貞節で高潔な生活を送ること。貞節で高潔な生活を送ることには、同性間の恋愛行為を控えることも含まれる。
- アルコール飲料、たばこ、お茶、コーヒー、VAPE、大麻、その他の薬物乱用を控えること。
- 教会の礼拝に定期的に参加すること。

- 不敬な言葉や下品な言葉を避けるなど、他人を尊重すること。
- 法律を遵守し、CES（教会教育機構）が定めた服装・身だしなみ基準を含む学内の方針に従うこと。
- 行動規範と服装・身だしなみ基準を遵守するよう、周囲に奨励すること。

※上記はBYU 公式サイト内の「オーナーコード」ページから引用。なお、学期／合宿期間中の安息日礼拝行事は湯沢校校内において行われます。

【撮影・録画の許可】

みくに国際学園では、受講やイベントにおける参加者の様子を撮影させていただく場合がございます。これらはより多くの方々に学園の主旨を正しく理解していただくための広報素材として印刷ならびにウェブサイト等の媒体を通じて適宜使用させていただきます。

こうした広報媒体用素材は、どうしても個人が特定できる画像サイズや映像の鮮明さが伴いますことをご理解ください。同時に、学園では使用された画像や映像に対しては受講者ご本人の「使用を拒絶する権利」があることも理解しております。掲載した画像および写真の使用に対してのご意見がある方は、みくに国際学園の広報担当者が直接承ります。

【お問い合わせ】

よくいただく質問はホームページ内の Q&A ページにまとめています。もし、Q&A ページで解決できない場合は問い合わせフォームをお使いいただくか、平日 9 時～18 時（土・日・祝日を除く）の時間帯に 025-775-7771 までお電話でお尋ねください。

【湯沢滞在時に必要な物】

学園公式サイト内でも記載していますが、次ページにもご案内しています。

【その他】

BYU（ブリガム・ヤング大学）およびその系列校、ならびに Pathway Connect プログラムに関する公式発表は度々更新されます。最新の情報はそれぞれの Web サイトに記載されていますので必要に応じてご自身で確認してください。

- BYU〔英語〕⇒ <https://www.byu.edu/>
- BYU アイダホ校〔英語〕⇒ <https://www.byui.edu/>
- BYU ハワイ校〔英語〕⇒ <https://www.byuh.edu/>
- My Future〔日本語〕⇒ <https://myfuture.jp/>

持ってくる物チェックリスト

- ノート型パソコン
合宿においては必須ではありませんが、ネット検索や文字入力等の基本操作に慣れたご自分のノートパソコンがあると学習に有効な場合もあります。校舎内および宿舎の通信環境は整備されています。
 - 筆記用具
 - 使い慣れた辞書（アプリ使用可）
 - 聖典（アプリ使用可）
LDS Interpreter Free-67 Lang Scriptures Side by Side を推奨（iOS 版のみ）
 - 自身の必要に応じて英語学習に適った教本
 - 寝具用シーツ（上用／下用）を交換用も含め 2 セット
 - 枕カバー（交換用も含め 2 セット）
 - 一週間分の着替え
 - 安息日の服装
 - 寝間着
 - 運動着
 - 雨具
 - サンダル
 - 運動靴
 - 洗面用具
 - タオル類
 - 常備薬【重要】
 - 軍手
 - 水筒
 - ハイキング用リュック
 - 嗜好品
- など。

- ※ 湯沢の標高は高いので、参加される季節によっては平地と気候が大きく異なります。衣類を準備される際には注意してください。
- ※ 受講および課題を進めるにあたってスマホ／タブレットの使用は推奨していません。また、貸与できるパソコンはありませんのでご自分で準備してください。
- ※ オンラインゲーム機器は持ち込み禁止品です。また、電子端末にインストールされたオンラインゲームを使用することも控えていただきます。
- ※ 期間中は初日前から管理者が常駐します。事前に宅配便で湯沢校住所宛てに荷物を送って、本人到着まで保管しておくこともできます。

送り先： 〒949-6212
新潟県南魚沼郡湯沢町三国 483
みくに国際学園 湯沢校
本人名を付記
電話番号：本人所有の携帯電話番号を記載

以上